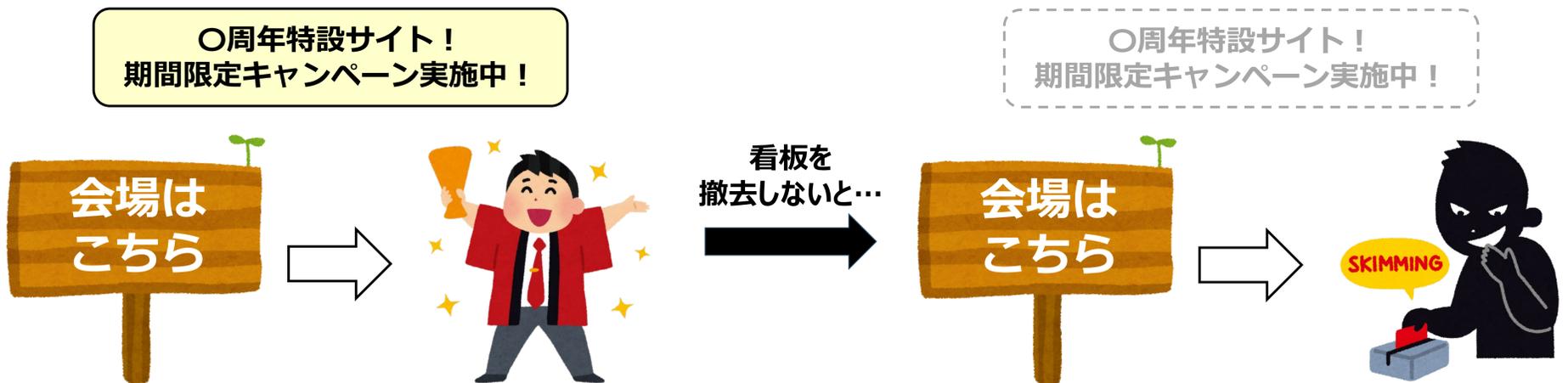


終わったWebサイトのDNS設定、jPRS そのままになっていませんか？

▼DNS設定が残っていると…

- 残っているDNS設定を第三者に利用され、**ドメイン名を勝手に使われる**ことがあります。
- 対象になりやすいものの一つとして、キャンペーンサイトなど、**期間限定のWebサイト**が挙げられます。
- 被害を防ぐため、キャンペーンの終了時に、**会場に案内する看板も合わせて撤去する**必要があります。

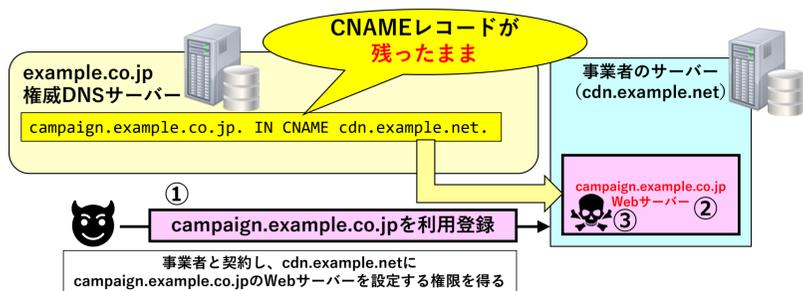


案内の看板（DNS設定）が残っていると、案内先の跡地を再利用されてしまう

▼使われる手法

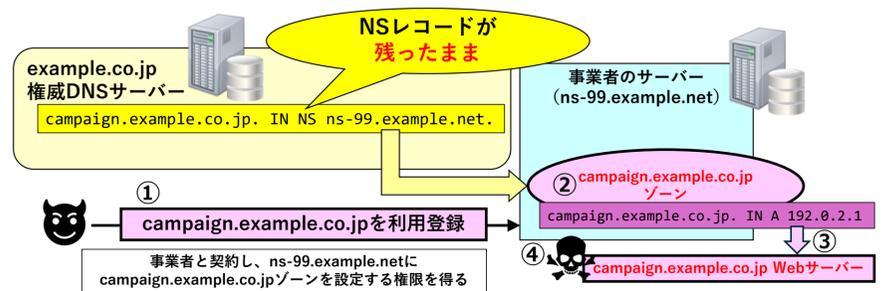
サブドメインテイクオーバー

- ① 第三者がCNAME参照先の事業者にて、**campaign.example.co.jp**を利用登録
- ② 事業者のWebサーバーにて、**campaign.example.co.jp**のWebサーバーを設定
- ③ 設定したWebサーバーで、**不適切なコンテンツを公開**



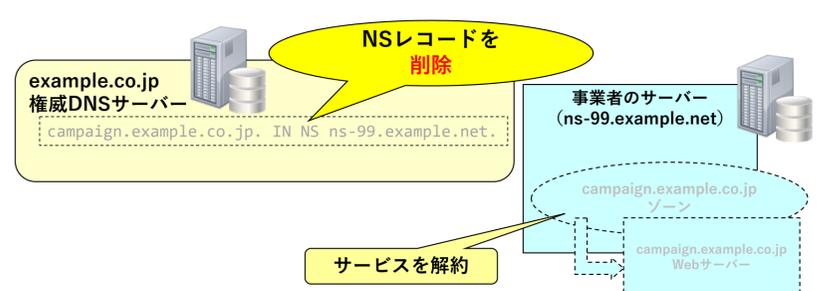
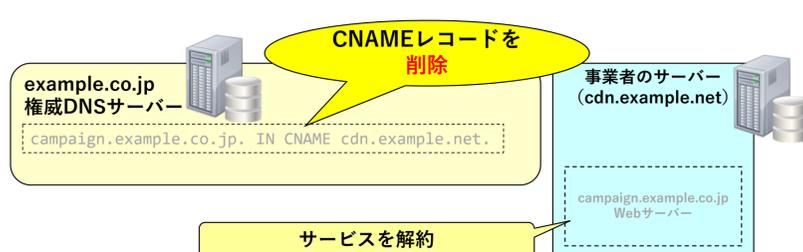
NSテイクオーバー

- ① 第三者がNS委任先の事業者にて、**campaign.example.co.jp**を利用登録
- ② 事業者の権威DNSサーバーにて、**campaign.example.co.jp**ゾーンを設定
- ③ 別途設定した**campaign.example.co.jp**のWebサーバーを、A/AAAAで指定
- ④ 設定したWebサーバーで、**不適切なコンテンツを公開**



▼終わったWebサイトのDNS設定は必ず削除・変更を！

- サービス開始時に設定したDNS設定は、**サービス終了時に削除・変更が必要です**。
- ツールなどを活用し、**自身のドメイン名の削除・変更漏れを検知・修正**することも、有効な対策となります。



▼ホスティング等のサービスを提供する事業者のみなさまへ

- サービスの提供開始時における利用者のドメイン名の管理権限の確認、サービスの提供終了時における利用者のDNS設定の削除・変更の確認を実施することで、トラブル発生リスクを低減できます。

トラブル発生リスク低減のため、ご協力をお願いいたします。